

令和 7 年度		工 事 設 計 書	
工 事 名	坂戸系7号井取水ポンプ交換工事		
工 事 場 所	坂戸系7号井		
工 期	契 約 日 ~ 令和8年6月30日		
設 計 金 額	金	円也	
工 事 概 要	取水ポンプ交換 1 か所		

工 事 年 度	令和 7 年度
工 事 名	坂戸系7号井取水ポンプ交換工事
変 更 回 数	
諸 経 費 区 分	上水道 令和07年度
工 種 区 分	構造物工事(浄水場等)
単 価 適 用 年 月 日	令和07年12月01日付 公共
単 価 地 区	県南(飯能県土整備)
機 損 適 用 年 月 日	令和07年10月以降適用
歩 掛 適 用 年 月 日	令和07年04月 上水道(新旧対照表)
材 料 単 価 適 用 年 月	令和07年04月付 水道材料単価
備 考	<p>諸経費区分「上水道 令和07年度」とあるのは「さく井・改修工事標準歩掛資料 令和6年度版」と読み替える。</p> <p>工種区分「構造物工事（浄水場等）」とあるのは「改修工事」と読み替える。</p> <p>歩掛適用年月日「令和07年度 上水道（新旧対照表）」とあるのは「令和07年04月 上水道（新旧対照表）及びさく井・改修工事標準歩掛資料 令和6年度版」と読み替える。</p>

坂戸系7号井取水ポンプ交換工事

総括表					
費目・工種・種別・細目	数量	単位	単価	金額	明細単価番号 基準
工事費	1	式			
本工事費	1	式			
構造物工事(浄水場等)01	1	式			
合計					

本工事費内訳書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号 基 準
構造物工事(浄水場等)01	1	式			
材料費	1	式			明 1 号
労務費	1	式			明 2 号
報告書作成	1	式			明 3 号
直接経費	1	式			明 4 号
直接工事費計					
共通仮設費計	1	式			
共通仮設費(積上げ)	1	式			
運搬費	1	式			
運搬費	1	式			明 5 号
準備費	1	式			
準備費	1	式			明 6 号
共通仮設費(率化)	1	式			
共通仮設費率分	1	式			

本工事費内訳書					
費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号 基 準
純工事費	1	式			
現場管理費	1	式			
工事原価	1	式			
一般管理費等	1	式			
工事価格	1	式			
消費税等相当額	1	式			
合計					

坂戸系7号井取水ポンプ交換工事

第 1 号 明細書						材料費
						1 式 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号 基 準	
取水ポンプ 80×0.80m ³ /min×99.5m×22kW×200V 水中ケーブル100m×2本付属	1	台				
繰出管 80×2.75m ナイロンコーティング鋼管 フランジ14K(切欠4箇所)	32	本				
片落管 100× 80 ナイロンコーティング鋼管 フランジ14K(切欠4箇所)	1	本				
ステンレスボルトナットSUS304 M12×60 焼付防止処理(繰出管用) 六角ボルトナット	33	組				
ステンレスボルトナットSUS304 M12×60 焼付防止処理(片落管用) 六角ボルトナット	1	組				
フランジパッキン 80用 フランジ14K	33	枚				
フランジパッキン 100用 フランジ14K	1	枚				
硬質ポリ塩化ビニル管 25×4m 低水位計用、水位計用	46	本				
水道用硬質ポリ塩化ビニル管継手 25VP 低水位計用、水位計用	44	個				
低水位電極 MA電極付き 100m	1	本				
連成計 面径 100	1	個				
計						

[illegible]

[illegible]

[illegible]

坂戸系7号井取水ポンプ交換工事

第 6 号 明細書					
準備費					
1 式 当り					
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号 基 準
準備工					
技師 (B)		人			
さく井主任 (主任地質調査員×1.2)		人			
さく井技士 (主任地質調査員)		人			
さく井工 (地質調査員)		人			
機械組立・解体					
さく井主任 (主任地質調査員×1.2)		人			
さく井技士 (主任地質調査員)		人			
さく井工 (地質調査員)		人			
設備機械工		人			
消耗品費		%			
ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型] 16t吊		日			
計					

坂戸系7号井取水ポンプ交換工事

第 1 号 代価表					
取水ポンプ引揚 80×0.80m ³ /min×99.5m×22kW×200V					
1 台 当り					
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号 基 準
さく井主任 (主任地質調査員×1.2)		人			
さく井技士 (主任地質調査員)		人			
さく井工 (地質調査員)		人			
電工		人			
消耗品費		%			
塩ビ 類4tダンプ 収集運搬費	1	台			
廃プラスチック類 処分費	0.091	m ³			
スクラップ 鉄-H2	1.281	t			
計					
単位当たり					

坂戸系7号井取水ポンプ交換工事

<div> <div>第 2 号 代価表</div> <div>取水ポンプ設置 80×0.80m³/min×99.5m×22kW×200V</div> <div>1 台 当り</div> </div>					
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号 基 準
さく井主任 (主任地質調査員×1.2)		人			
さく井技士 (主任地質調査員)		人			
さく井工 (地質調査員)		人			
電工		人			
消耗品費		%			
計					
単位当たり					

坂戸系7号井取水ポンプ交換工事

第 3 号 代価表						揚水試験 段階揚水試験	
						1 式 当り	
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号 基 準		
技師（ A ）		人					
技師（ B ）		人					
さく井主任 （主任地質調査員 × 1.2）		人					
さく井技士 （主任地質調査員）		人					
さく井工 （地質調査員）		人					
消耗品費		%					
計							
単位当たり							

[illegible]

電気・機械工事標準仕様書

(適用範囲)

第1条 この電気・機械工事標準仕様書（以下「仕様書」という。）は、坂戸、鶴ヶ島水道企業団（以下「発注者」という。）が発注する電気・機械工事（以下「工事」という。）に適用し、その工事の適正を期するため、坂戸、鶴ヶ島水道企業団建設工事標準請負契約約款（以下「約款」という。）第1条に規定する仕様書として、工事に必要な事項を定めるものとする。

2 特記仕様書及び工事設計書、設計図面（以下「設計図書」という。）に記載された事項は、この仕様書より優先するものとする。

(法令等の遵守)

第2条 受注者は、工事の施工にあたっては、関係法令、条例、規則等を遵守し、工事の円滑な進捗を図るとともに、諸法令の適用運用は受注者の負担と責任において行わなければならない。

(疑義の解釈)

第3条 仕様書（特記仕様書を含む。）及び設計図書に疑義を生じた場合には、発注者と受注者との協議により決定する。

(監督員及び監督業務)

第4条 この仕様書において監督員とは、約款第9条の規定に基づき監督員として指定された職員で総括監督員及び担当監督員を総称する。

2 総括監督員の業務は次の各号に定めるものとする。

- (1) 受注者に対する指示、承諾又は協議で総括監督員が重要と認めるもの
- (2) 設計図書に基づく工程の管理、立会い、工事の施工状況の検査又は工事材料の試験若しくは検査（確認を含む。）のうち、総括監督員が必要と認めるもの
- (3) 工事の内容変更、一時中止又は打ち切りの必要があると認められる場合における当該処置及び当該処置を必要とする理由その他必要と認める事項の所属長に対する報告
- (4) 担当監督員の指揮監督及び監督業務の掌握
- (5) その他総括監督員が必要と認めた事項

3 担当監督員の業務は次の各号に定めるものとする。

- (1) 受注者に対する指示、承諾又は協議
- (2) 設計図書に基づく工事の施工のための詳細図等の作成及び交付又は受注者が作成した詳細図等の承諾
- (3) 設計図書に基づく工程の管理、立会い、工事の施工状況の検査又は工事材料の試験若しくは検査（確認を含む。）
- (4) 監督業務全般についての総括監督員への報告
- (5) その他総括監督員の指示する事項

(書類の提出)

第5条 受注者は、約款第3条の書類のほか、次の書類のうち本工事に必要な書類を提出し、発注者の承認を受けなければならない。

- (1) 着工届、現場代理人等通知書、現場事務所設置届、主要材料業者及び発注先一覧表及び監督員の指示する書類を契約締結後14日以内に提出しなければならない。
- (2) 受注者は、工事の施工に先立ち、承認願及び材料検査願を提出して監督員の承認を受けなければならない。
- (3) 受注者は、工事期間中監督員に使用材料、常務者数及び工事出来高を記入した工事日報を遅滞なく提出しなければならない。
- (4) 部分払い契約において部分払を請求する場合は、出来高届及び監督員の指示する書類を提出しなければならない。
- (5) 工事が完成した場合、実施工程表、品質管理に関する書類、出来形管理図、竣工図、

工事記録写真及び竣工届を提出しなければならない。

(6) 前各号のほか仕様書、特記仕様書に決められた事項及び監督員の要求する書類を提出しなければならない。

2 受注者は、工事の施工にあたり、下請負契約を締結したときは、公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律第15条を遵守するとともに、次の書類を提出し、発注者の承認を受けなければならない。

- (1) 下請負人通知書
- (2) 施工体制台帳（全建統一様式を使用可能とする。）の写し
- (3) 施工体系図（全建統一様式を使用可能とする。）
- (4) 前各号のほか監督員の要求する書類

（官公庁に対する手続）

第6条 工事施工のため必要な関係諸官公庁等への諸手続は、原則として受注者において迅速に処理しなければならない。

2 関係諸官公庁及び関係地域住民に対し交渉を要するとき又は交渉を受けたときは、遅滞なくその旨を監督員に申し出て協議するものとする。

（既設物件の移設）

第7条 工事施工中に生じた既設物件の移設等に関する費用は受注者の負担とする。ただし、発注者の認めたものに限り発注者の負担とすることができる。

（工事現場の安全管理）

第8条 受注者は、常に工事の安全に留意して現場を管理し、災害の防止に努めること。

- 2 受注者は、従業員及び公衆の安全衛生を図るため常に細心の注意を払い、労働安全衛生法規を遵守すること。
- 3 受注者は、工事現場における安全な作業を確保するため、適切な照明、防護柵を設けること。
- 4 受注者は、薬品油類、電気等の危険物を使用する場合は、その保管及び取扱いについて、関係法令に従い、万全の対策を講ずること。
- 5 受注者は、工事の施工にあたっては、必要な安全管理者、各作業主任者、保安要員及び交通整理員等を配置して、安全管理及び事故防止に努めること。

（衛生管理）

第9条 受注者は、工事の施工にあたっては、水道水の汚染を防止するため、伝染病の予防等衛生管理に努めなければならない。

2 受注者は、工事の施工に7日間を超えて従事するものについて、水道法第21条の規定に基づく健康診断を行わなければならない。

（材料の規格）

第10条 工事に使用する材料は、設計図書に品質規格を規定されたものを除き下記を使用するものとする。

- (1) 日本産業規格（JIS）
- (2) 日本電機工業会標準規格（JEM）
- (3) 電気規格調査会標準規格（JEC）
- (4) 日本水道協会規格（JWWA）

2 前項の規定に定めのない材料は、監督員の承諾を受けたものでなければならない。

（材料の検査）

第11条 工事材料は、使用前にその品質、寸法について監督員の検査を受け合格したものであり、各規格の検査合格証明書等を提出すること。

2 検査に合格した材料であっても、使用時において損傷変質又は不良品となっていると認めたものは、新品と取替え再び検査を受けること。

3 不良品と認めた材料は、速やかに工事現場から搬出すること。

(建設副産物の処理)

第12条 残土、コンクリート廃材、アスコン廃材、木材廃材及び機材撤去品等建設副産物の処理については、事前に監督員と十分協議し、関係法令等を遵守して処理すること。
ただし、処分について設計図書に明記してある場合は、それに基づき処理すること。

(施工管理)

第13条 受注者は、工事施工前に施工管理計画を定め、工事の施工内容を把握し、適切な施工管理を行わなければならない。

(工事写真)

第14条 受注者は、発注者の指示に従い施工前、完成後の状況が対照できるように、工事過程をカラー撮影すること。

2 工事完成後外部から明視できなくなる箇所の施工状況、重要な工事段階、出来形部分及び寸法等が確認できるように撮影すると共に、監督員の指示に基づいてアルバムに整理をし、随時点検できるようにした上で、工事完成後発注者に提出しなければならない。

3 提出部数は次のとおりとする。

工事写真帳 1部

写真原本を電子媒体に格納したもの 1式

(竣工図書)

第15条 竣工図は、出来形を DWG 形式又は DXF 形式のデジタルデータを電子媒体に格納したもの及び A4 判に折り込んだ決裁用図書、A3 判図書(決裁用の写し)を提出すること。

2 提出部数は次のとおりとする。

決裁用図書 (A4 判) 1部

決裁用図書の写し (A3 判) 3部

竣工図を電子媒体に格納したもの 1式

3 その他監督職員の指示するもの。

(竣工)

第16条 本工事の竣工とは、仮設物その他の整理清掃が完了し、発注者の検査に合格した日をいう。

坂戸系 7 号井取水ポンプ交換工事特記仕様書

1 適用範囲

この坂戸系 7 号井取水ポンプ交換工事特記仕様書(以下「特記仕様書」という。)は、別紙電気・機械工事標準仕様書(以下「標準仕様書」という。)を補完するため、必要な事項を定める。

2 用語の解釈

この特記仕様書に記述する用語の解釈は、坂戸、鶴ヶ島水道企業団建設工事標準請負契約約款(以下「約款」という。)及び標準仕様書に準ずる。

3 工事目的

本工事は、令和 7 年 10 月 7 日に故障した取水ポンプを交換するものである。

4 工事内容

取水ポンプ交換工事

(1) 工事場所

坂戸系 7 号井(坂戸市清水町 45)

(2) 工事概要

取水ポンプ交換工事 一式

5 井戸及び取水ポンプ仕様等

(1) 坂戸系 7 号井

ア ケーシング

200A×180m

イ スクリーン

200A×39m(有効総延長)

ウ ピットレスユニット

胴長地上式 10型

エ 既設取水ポンプ設置深度

88.115m

オ 既設取水ポンプ仕様

$\phi 80 \times 0.8 \text{ m}^3/\text{min} \times 99.5 \text{ m} \times 22 \text{ kW} \times 200 \text{ V}$

カ 取水ポンプ

(ア) 型式

深井戸用水中モータポンプ

(イ) 口径、揚水量及び全揚程

$\phi 80 \times 0.8 \text{ m}^3/\text{min} \times 99.5 \text{ m}$

(ウ) 回転数

3,000 min^{-1}

- (エ) フランジ規格
J I S 14K
- (オ) ポンプ材料
S U S 304
- (カ) 接続材料等
- キ 電動機
 - (ア) 型式
水封式水中形
 - (イ) 出力
22kW
 - (ウ) 電圧
三相 200V
 - (エ) 周波数
50Hz
 - (オ) 極数
2P
 - (カ) 始動方式
スターデルタ始動
 - (キ) 接続材料等
- ク その他
 - (ア) 水中ケーブル
200V 平形3芯 CVCT22mm² 190m(95m×2本)
 - (イ) 繰出管
φ80 14K形 L=2.75m
ナイロンコーティング鋼管 32本
フランジ 切欠4か所
 - (ウ) 片落管
φ100×φ80 L=115mm
ナイロンコーティング鋼管 1本
フランジ 切欠4か所
 - (エ) フランジ接合材
φ80用SUSボルト・ナット (M12-60) 8本、Fパッキン 1枚 (ナットのみSDC処理) 33組
φ100用SUSボルト・ナット (M12-60) 8本、Fパッキン 1枚 (ナットのみSDC処理) 1組
 - (オ) ビニール管
φ25 水位計用 23本 ソケット22個
φ25 低水位電極用 23本 ソケット22個
 - (カ) 低水位電極
100m (MA電極付) 1本

5 施工手順

(1) 既設取水ポンプの引き揚げ

(2) 新設取水ポンプの設置

※ボルト・ナット、フランジパッキン及びサンプリング管はいずれも交換とする。

(3) 報告書等の編集及び作成

6 試験調整

ポンプ交換後は締め切り運転を行い、正常な吐出圧を確認すること。また、適正水量になるよう設定すること。

7 施工上の注意点

現場製作の材料については十分に現場調査を行い、施工図の承認を受けてから施工すること。

施工場所の作業スペースには限りがあり、道路を使用する場合は道路使用の手続きと安全対策を行うこと。

8 環境対策

工事期間中は騒音、振動等の抑制及び泥水の飛散防止等、周辺への環境対策として必要な措置を講じなければならない。

9 竣工図書

竣工図書（報告書、映像、写真、竣工図）の提出部数は次のとおりとする。ただし、竣工図は、DWG形式又はDXF形式のデジタルデータを電子媒体に格納することとし、竣工図書（決裁用、製本版）にはA3判を折り込んで提出すること。

(1) 決裁用（A4判） 1部

(2) 製本版（A4判） 2部

(3) 電子媒体に格納したもの 一式

10 検査

約款第31条第2項の検査は契約期間内とする。

11 その他

本仕様書に記載無き事項は別途協議し決定する。